

令和3年11月29日

～三原市シティプロモーション推進事業 三原マジック～
高校生による「耳にタコができるまち三原」プロジェクト
市長への中間発表会を開催します

三原市では、まちの魅力づくりに取り組み、それを情報発信する「シティプロモーション」の一環として、令和2年度から三原高等学校の生徒による三原のPR動画の制作・発信等のプロジェクトを行っています。

つきましては、次の日程で今年度のプロジェクトについて、岡田市長等へ中間発表を行いますのでお知らせします。

※ 本プロジェクトでは、三原市シティプロモーション外部アドバイザーの山崎祥之やまざきよしゆき氏からの助言を受けながら進めています。また、地元ケーブルテレビの三原テレビ放送が生徒たちをサポートしています。

～中間発表会の概要～

- 1 開催日時
12月3日(金)14時00分～15時15分(予定)
- 2 場 所
三原市役所本庁舎3階 会議室 304・305・306
- 3 主な出席者
三原市長
三原高等学校2年生(12人)
三原テレビ放送 社員
三原市シティプロモーション外部アドバイザー
山崎祥之氏 (Webでの出席)



4 発表の内容

三原高等学校の2年生を主体とした「耳にタコができるまち三原」プロジェクト

自分たちが考える「魅力あるまち」、自分たちが「住み続けたいまち」は、どんな「まち」なのか、高校生自身が考え、実現するためには、「どんな問題や課題があるか」を考えてきました。

三原を「耳にタコができるまち」にしたいという目標を定め、これを達成するために「映像のチカラ」を活用しプロジェクトを進めています。高校生が進めている「耳にタコができるまち三原」プロジェクトは、三原の魅力を様々な市民や企業が市内外に動画で発信し、三原という地名を耳にタコができるくらい見たり、聞いたりするという意味が込められています。このプロジェクトの進め方やこれまでの進捗状況等を高校生自身が作成したPowerPoint資料で発表します。

【問い合わせ先】 広報戦略課

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号

TEL0848・67・6007(直通) FAX0848・64・7101

5 各グループの紹介

チーム名	活動内容
越（お）チーム	市内在住のラッパー二人組ユニット「GORGON（ゴルゴーン）」と連携し、「やっさ踊り唄」をベースとした楽曲を制作 ラップで三原をPRする動画を制作・発信
三度のメシよりスイーツ食べたい	市内のスイーツを動画で紹介する動画を制作・発信 取材先：むすび
タコさばき隊	三原市漁業協同組合と連携し、女子高生がタコをさばく動画を制作・発信
チームインドア	まちの発展には企業の力が重要 三原市内の企業を紹介する動画を制作・発信 取材先：八天堂



★完成した動画は市公式 YouTubeなどで配信予定。

6 今後の予定・めざす姿

- 高校生が、自ら制作した動画を市民や企業を巻き込みながら広く発信していく。
- 高校生から刺激を受けた市民や企業も、自ら動画を制作・発信し、市内全域にこの活動を広げていく。
こうすることで市民や市外の人に、「最近三原の動画を見る人が多い」「自分もこんな動画を作りたい」「三原ってなんか面白そうなまちだ」と感じてもらう。
- このプロジェクトは次の2年生にも引き継ぎ、市全体の取組に発展させ、「耳にタコができるまち三原」をめざす。



この発表会では

- ・このプロジェクトに取り組むきっかけとなった高校生の「三原への想い」を「こんなもんじゃない。三原」と題した動画で紹介します。
- ・高校生による動画制作のための取材の様子も動画で紹介します。
- ・高校生の発表に対して、岡田市長と外部アドバイザーからアドバイスや感想を伝えます。

明治大学卒業後、コピーライターを経て1991年よりフリー。1993年株式会社サニーサイドアップにPRプランナーとして参加。2003年にパルチザンを設立。省庁委員会メンバーや県情報発信アドバイザーなどを歴任する。

▲外部アドバイザー
有限会社パルチザン代表 山崎祥之氏

【問い合わせ先】 広報戦略課

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号

TEL0848・67・6007(直通) FAX0848・64・7101